

2013年IEA閣僚理事会におけるアソシエーションを追求することに関する相互の関心を表明するIEAとブラジル、中国、インド、インドネシア、露、南アフリカとの間の共同宣言（仮訳）

今次IEA閣僚理事会に参加する国際エネルギー機関（IEA）とブラジル、中国、インド、インドネシア、露及び南アフリカ（「パートナー国」）は、この機会に、グローバルなエネルギー問題やエネルギー安全保障は、生産国、消費国、通過国によって共有された解決策を必要とするとの共通理解に基づき、より緊密に協力していく意図を表明する。

この多国間協力を始める意図は、近年IEAと個別のパートナー国との間で共に進められてきた広範な作業計画に立脚するものである。平等と互惠の原則に基づいて共通利益を追求するための協力は、IEA加盟国とパートナー国双方の利益を進展させ、国際エネルギー市場の透明性と有効な機能性を高めるのに資する。すでに存在する強力かつ充実した協力関係を認識しつつも、今日のエネルギーの問題は、より広範な場面での更なる緊密な協力を必要としていることを踏まえ、IEAとパートナー国は、その協力関係を更に深化させる意図を持っている。

アソシエーションは、次の事項を含む相互利益の分野において、平等に、ともに取り組むため、効率的かつ自発的な手段を提供するであろう：共通のエネルギー問題やベストプラクティスに関する情報共有の拡大；エネルギー安全保障；エネルギー市場に関する透明性及び分析；エネルギー技術、エネルギー効率、及び再生可能エネルギー；その他双方の利益に関する諸事項。また、アソシエーションは、今次また将来のIEA閣僚理事会に加え、様々なIEAの作業部会及び委員会の会合を通じて、IEA加盟国とパートナー国との間の定期的な対話の共通フォーラムを提供するであろう。

我々は、IEA加盟国とアソシエーションのパートナー国の利益と責任の両方を確保するようなやり方で、アソシエーションを発展させるための合意に達するよう最善の努力を共に力を合わせながら行う予定である。